

事業名：ブランド化支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 明日につながる産業の振興								
施策	01 都市型農業の推進								
基本事業	04 農畜産物の付加価値化								
開始年度	平成16年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	政策的補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内農業者・市内肉用牛飼養農業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
①春まき小麦「ハルユタカ」安定供給のため、種子減収補てんや試験研究を行う基金に負担金を支出する。 ②黒毛和種「えぞ但馬牛」の市場評価向上を目的とし、人工授精に用いる優良種雄牛精液購入に対して補助する。 根拠条例等：えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
①ハルユタカの種子を安全供給し、生産量の安定化を図る。 ②えぞ但馬牛の優良種雄牛精液を確保し、市場評価を向上する。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	農家戸数	戸	473	449	433	433
対象指標2	市内肉用牛飼養農家戸数	戸	28	25	24	25
活動指標1	負担金・補助金額	千円	688	600	650	750
活動指標2						
成果指標1	ハルユタカ生産量(製品収量)	t	1,181	1,573	1,340	1,573
成果指標2	肥育牛(肉用)の枝肉単価	円	1,685	1,740	1,884	1,740
事業費(A)		千円	688	600	650	2,750
正職員人件費(B)		千円	3,612	3,607	3,516	3,912
総事業費(A+B)		千円	4,300	4,207	4,166	6,662

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
25年度	・えぞ但馬牛ブランド化支援事業として江別和牛生産改良組合へ補助金を支出している。	・えぞ但馬牛ブランド化支援事業 精液及び受精卵購入補助事業 300千円 自家保留牛助成事業 200千円 改良技術助成事業 150千円

<b>事業を取り巻く環境変化</b>	
<b>事業開始背景</b>	
<p>ハルユタカは全国的に知名度があり、特に江別産のイメージが強く、将来ブランド化できる品種として有望である。しかし、ハルユタカは収量が不安定なことから、全道的に収穫量が減少し、これに伴って種子生産量も減少した。このため、市内の作付面積確保には種子を自前で用意する必要がある。本事業では種子不作時の補てんを目的とした基金を設立し、種子生産拡大を誘導することによってハルユタカ生産量の拡大を目指す。</p>	
<b>事業を取り巻く環境変化</b>	
<p>えぞ但馬牛については、飼料価格の高騰、消費税の増税、TPP交渉における関税の問題等、肉牛生産農家は厳しい状況に直面している。</p>	

<b>平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）</b>	
<b>(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	<b>理由根拠</b> 農業を含めた市内産業の長期的な振興を目的としており、市としての取組が必要である。
<b>(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<b>理由根拠</b> ハルユタカは知名度が高く、今後、安定的に生産・供給することによって地域ブランドとして確立することは、上位基本事業の成果に直結する。
<b>(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	<b>理由根拠</b> えぞ但馬牛については、品質の向上により素牛市場での評価が高くなってきており、えぞ但馬牛の知名度も上がってきている。また江別和牛生産改良組合の下部組織としてえぞ但馬ビーフ・クラブが設立され、各種イベントへの参加や販路拡大を通して、更なる銘柄の確立向上を目指している。
<b>(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？</b>	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	<b>理由根拠</b> 事業を継続することでハルユタカやえぞ但馬牛の付加価値が上がり、生産を誘導することができれば、更なる生産量増加と生み出される商品の増加が期待できる。
<b>(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？</b>	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	<b>理由根拠</b> 良品質小麦安定確保対策基金は、平成20年度をもって積立期間を終了した。えぞ但馬牛は、現在の高い市場評価を維持するためには、優良種雄牛精液確保の継続が必要である。